

全ては疑うことから始まる

日本人は横並びが大好き。「出る杭は打たれる」などといってみんなと同じ行動をしたがる。変化を嫌う農耕民族の悲しい性がいまだに残っている・・

みんなと同じことをしている限り、せいぜいうまくいってもみんなと同じ程度の満足感し得られない。

みんなと同じことをして仲良くしていればいざという時助けてくれるのではという甘い期待があるのかも知れないが、いざという時になれば嫌でも分かる。逃げる人はいても助ける人なぞいないと思ってっていた方がよい。

愚衆という言葉があるがそう言われても仕方がない人が沢山いる。愚衆というのは差別用語かも知れない。

そこで善男善女という。概して信心深い大衆をイメージしているのだろうが大抵の悪党や詐欺師の事務所には例外なくといってもいいくらい仰々しい神棚と高名な政治家と握手している写真がかざってある。

いつの時代でもこの手の悪党に食べ物にされるのは疑うことを知らない善男善女なのであり、「私はこうして儲けた」式のノウハウ本に簡単に飛びつくのもこの人達なのである。

世の中どう考えてもいかがわしい人種で充ち満ちている。見たこともないことはおろか御当人でさえ信じているのかどうか疑わしい地獄とか極楽とかを種に、それこそ善男善女から金をせしめている生臭坊主、自分の未来も占えないくせに他人から金を取ってもっともらしい予言をする占い師、相場で儲けたことのないのに偉そうに相場を語る株式評論家等々数え上げればきりが無い。

私は何もここで世相を論じたいわけではない。世の中は矛盾と迷信に充ち満ちており、その事実が分からなければ株式投資で成功することはおぼつかないといいたかっただけである。

権威を疑うことによって光明が見えてきた

株式投資法の一つにテクニカル分析（日本流に言うとケイ線）があるのは御存知の通りである。ところが、私のみたところ熱烈なテクニカル分析の信者で見るべき成果を収めている投資家がほとんどいないのである。

普通、あるやり方で儲からなければ別の方法を模索するものであるが、ケイ線信者はとびきり素直な性格の持ち主が多いせいか、儲からないのは自分の勉強が足りないせいであると思い、ますます怪しげな教えに嵌り込んでいく人が意外に多い。

これは現世利益を説く宗教の信者が、教祖に帰依すればするほど貧乏しても、それは自分の信仰の足りなさ故であると勝手に思いこみ益々貧乏になっていく過程によくにている。

る。

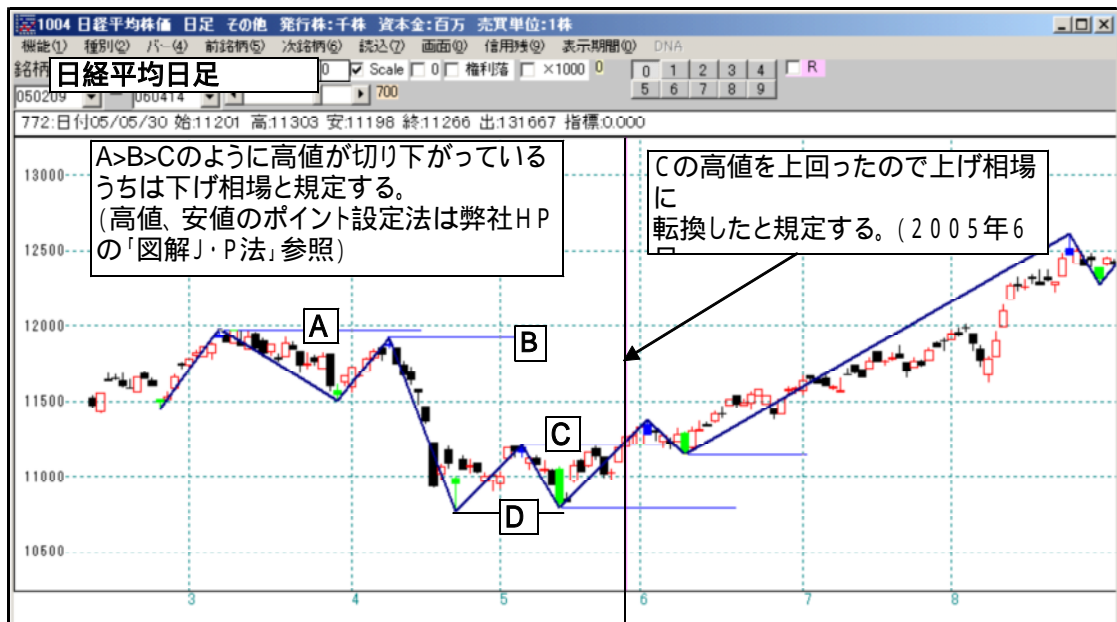
かくいう私も一時期、マニアックにケイ線にはまった時期があった、しかし、いくらやっても儲からない。教え自体が間違っているのではないか、ケイ線の買い場と称するところで買って儲からないなら、逆にそこで売って見たらどうかと考えコンピュータを使って様々なシミュレーションをしてみた。その結果下記のようなことが分かった。

- 1) どんな方法で株を売買しようと相場全般の流れに逆らった投資は原則的に儲からない。
- 2) 相場が上げ始めてから買うよりも、下げの途中から買い下がった方が確実に儲かる。
- 3) ケイ線の世界で認知されている売買ポイントに忠実に従って実際に売買していたら財産はたちまちなくなってしまう。

従来のテクニカル分析の欠点

- 1) 何よりもこれまでのテクニカル分析は何故そうなら買いであり、売りであるのかの理論的武装が全然といっていいほどない。
- 2) さらにその手法で機械的に売買したらばどのような損益になるのか相場のあらゆる局面での効率性のテストがなされていない。
- 3) 「一目均衡表」のようなバイブル視されたテキストが幅を利かせておりあり、教祖が絶対化され全ての失敗は利用者の解釈の未熟さに帰されてしまう。批判を許さない技術に進歩はあり得ない。考え方に古典はあっても技術に古典はないし、またあってはならないのである。

売買の回数を少なくし理詰めで考えれば株はもうかる



株で本当に儲けたければ

- 1) 平均株価上、一定の条件が満たされるまで株の売買は一切しない。(上記チャートで

例えば2005年6月30日まで一切株を買わない意思の強さが必要)

2) 平均株価上の買いポイントの決定が結果として正しければ個別銘柄を探すのは簡単。

2005年5月30日に株価終値が過去3日間の高値を更新した銘柄を選び出し、
その中から株価の安い順に5銘柄のみを買い付け対象とする(ただし、対象銘柄は貸借銘柄の中から売買単位が1000株と500株単位の銘柄に限定する)

No.	コード	銘柄名	区分	終値	出来高	売買単位	業種
1	8107	キムラタン	大1	49	3029	1000	繊維製品
2	7647	音通	大2	168	231	1000	卸売業
3	1858	井上工業	東2	78	239	1000	建設業
4	6439	中日本鑄工	名証	100	1	1000	機械
5	1805	飛島建設	東1	108	480	500	建設業

上記5銘柄の日々の時価総額(1株当たりの)を計算し合成チャートを作成すると下記のようなチャートになります。

